

- 1 校長挨拶
- 2 委員長挨拶
- 3 協議項目

1) 平成 28 年度学校評価 (案) について

【授業研究】

- ・アクティブラーニング研修の実施や ICT 機器（プロジェクタ 4 台）の導入。
- ・教科毎に年間 3 回の研究授業。各教員年間 2 回以上の互見授業の実施。
→アンケートにおいて、授業力向上につながったと回答した教員が 75%にのぼった。

【授業規律】

- ・ベル着の実施徹底
→「授業に集中して取り組む」と答えた生徒が 83%にのぼった。

【講習・補習の実施】

- ・例年に引き続き実施
→「進路実現にむけた学習支援の充実」に肯定的な回答が 84%へ上昇。

【アクティブ専門コースの実施状況】

- ・目標とする 80 名（音楽 40 名：スポーツ 40 名）には届かず。
- ・音楽コースは 14 名が選択（本年度 2 年生より開始）
- ・スポーツコースは 31 名が選択（次年度 2 年生より開始）
- ・現状では上記の目標選択者数の確保は難しい。実施状況を見極めながら、目標値については見直す必要があるかもしれない。

【キャリア意識の向上】

- ・3 年間を通じた計画。
- ・進路指導部と 3 年学年団との連携
- ・年 2 回の学力生活実態調査の実施
→担任が LHR や面談を通じて結果を活用
- ・夏期休暇中の大学見学会の実施
→1, 2 年時から HR の時間等を活用し、大学受験や将来のキャリアに対する意識を促進した。
→1 年生の大学見学会参加者が昨年度よりも約 40 名増加。効果が表れている。
→次年度は 1 年生を全員参加とし、より早い段階での意識確立をめざす。
- ・模擬試験・資格試験の受験
→3 年生の模擬受験率 30%上昇、漢検受験者数は昨年並み、英検受験者数 10%減
→現状の自分自身を客観的に評価できる機会であるので、引き続き積極的な受験を促す。

【自学習慣の確立】

- ・We b 予備校の活用について、20 名ほどの受講者の目標設定に対して 39 名が受講。
- ・学習オリエンテーションは昨年よりも改良を重ね、生徒のアンケートの肯定的回答率が 99%となった。
- ・部活指導の際の学力支援
→部活終了時間の徹底、部内での学習会等を通じて部活と勉強の両立を図る。
- ・家庭学習の充実に関するアンケート回答については、目標の 70%に届かず（H28 年度 59%）
- ・図書貸出数は、昨年 1,061 冊に対して現在約 840 冊。
→スマホなどデジタルコンテンツが主流となっている現状に対して、本への興味を喚起する何らかの

テコ入れが必要。

・学習意欲の喚起：学びワンポイントコーナーを設置。東西階段の踊り場6か所にその場で取り組める問題を提示。

【生徒の自主性】

・香里を考える HR の実施（11月）：生徒からの前向きなアイデアを集めて実現可能なものは取り入れた。

→HR が活性化したとの回答が 82%

・行事（体育祭、文化祭）に関する満足度が 91%

・生徒会活動：2期連続役員に立候補する生徒がおり、積極的な関わりが数多くみられる。

→校門前花壇の改修、熊本震災募金活動等

・部活動：新入生（平成 28 年度）の部活加入率は 85%

→7つの部活が中学生との合同練習を年間 16 回実施。

・コミュニケーション能力の向上

→人権学習や SNS 使用方法の研修の実施

→食堂改修工事が完了。次年度以降生徒らが自主的に対話を持つ機会を促進する

【安全及び健康配慮事項】

→PTA による登校指導の実施（6回）、就学支援委員会の実施（6回）

→教育悩み相談については、肯定的回答は 55%。相談体制の周知徹底を続けていく。

【地域連携】

→部活動が中心となり、介護施設や地域イベントへ参加。演奏会や地域清掃に従事する

→地元中学生との交流：香里丘カップや香里丘フェスティバルの実施

→大学、中学、支援学校との交流活動の増加。

【学校力の向上】

・若手教員の養成：2年目までの教員が参加する年間 6 回の香里会を開催。

→実施に対する教員からの肯定的な回答 70%

・PR 活動：学校見学会の実施（年間 4 回）

→第 3 回までに 1,250 名が参加。第 4 回目の参加者は約 100 名。結果昨年度の参加人数(1,412 名)にやや届かず。

【質疑応答】

委員：本年度に成果を出した項目は次年度以降も継続して取り組み、より高い目標をめざしてほしい。特に互見授業の取り組みを教員の更なる授業力向上へつなげてほしい。

委員：大学見学会への参加生徒が、1年生は全員、2年生は希望者となっている。1年生は高校生活の習慣づけが当面の課題であり、2年生の方がより受験を意識するのではと考える。何故そのような参加形態となっているのか？

学校側：3年間を通じた進路指導を考えていることもあり、1年生には出来るだけ早い段階で大学を意識させることが必要。一方で、2年生はある程度自分自身の志望校を絞りこんでおり、本当に見学したい大学を自ら選んで参加することが可能と思われる。

委：吹奏楽部をはじめ、香里丘高校の生徒が積極的に地域で活動しており、将来香里丘高校へ入学したいという生徒・児童が増えていくのではと思う。ぜひ引き続き続けてほしい。

委：学校経営計画における目標は教員が設定するものと理解しているが、目標達成にむけて生徒自身はどのような意識をもっているのか？教員との目標意識の共有はできているのか？

学：民間企業に例えるなら、学校経営計画では、生徒はいわゆる顧客とみなされる。顧客に対して提供

するサービスと期待する満足度を記載したものを学校経営計画としている。よって直接生徒に対して計画内の目標を示すことはない。一方で学校教育自己診断において生徒の満足度を調査しており、生徒満足を向上させるためにどのようなことをすればよいかを考えるのが学校経営計画と理解している。

委：会社組織という観点からすると少し違和感がある。例えば遅刻の数を減らすという項目は、教員だけの意識が向上しても改善できないと思う。教員と生徒の意識の関わり方が必要となっていくのではないかな？計画内容をより分かりやすくし、生徒にも目標を理解させることも必要なのではないかなと思う。

委：学校評価の結果はどのように保護者へ伝えているのか？

学：学校評価については本校 HP に掲載している。また保護者に対して実施したアンケートについても随時 HP に掲載している。

委：教員からの回答で、教員の学校経営への参画意識が倍増したとある。この背景にはどのような要因があったのか？

学：前校長は非常に強いリーダーシップを発揮され、自ら先頭に立って引っ張っておられた。校長が替わり、教員の意見を尊重する傾向にシフトしたためではないかと考えられる。

委：メール配信に登録する生徒・保護者は約 70%とのことであるが、登録の有無で不公平がないか心配であるが？

学：配信内容は行事予定や懇談予定が中心であり、実際に紙ベース（プリント）でも生徒へ配付している。よって、当該メール配信は紙ベースに加えた補完的サービスとしての役目をもつので、登録の有無による不公平はないと理解する。

委：グローバルリーダーの育成は、特定の生徒を対象としたものなのか？

学：全生徒が対象である。

委：海外の提携先にこだわることなく、幅広い活動を生徒に経験させグローバル人材を育成してほしい。

学：引き続き検討していく。

2) 平成 29 年度学校経営計画（案）について

※昨年度計画より大きく変更があった分を中心に説明。

【確かな学力の育成と第一志望の進路実現】

- ・基礎学力の向上に力を注ぐ
 - 1, 2 年生の GTZ を確実に B ランクにすることをめざす。
- ・1, 2 年生に早い段階で大学を意識させる。
 - 大学見学会の充実。
- ・図書室の貸出冊数を 3 年かけて年間 1, 500 冊を達成できるよう施策を考案する。

【質疑応答】

委：互見授業の実施はぜひとも次年度も継続させてほしい。プロがプロを評価するというシステムは必要だ。また実施したことを教員の授業力向上へ如何に活かしていくかについてもさらに踏み込んで考えてもらいたい。

3) 学校教育自己診断について

※ 2) で触れられていない点を中心に述べる。

【自学習を促す】

- 学習指導に対する回答で、生徒と教員との間に開きがある。
- 勉強が得意な生徒と得意でない生徒に対して、どうしても教員は到達度の低い生徒の方に学習指導の焦点がいきがち。意欲のある生徒に対してもきちんと指導を施していくことが重要。

【教育相談】

- 生徒の悩みに対する学校側の相談体制について、肯定率が昨年並み
- 今一度相談体制を強化する必要がある。

【学校運営】

- 昨年と比べて防災意識が低下。2回の避難訓練が雨天中止になったことが原因。

【質疑応答】

特になし。

4 各学年・分掌からの報告

【第3学年】

- ・一般入試はこれからが本番
- ・看護系に一部進路決定に苦慮している生徒がいる。

【第2学年】

- ・現在、進路HR等で入試を意識させている。
- ・春休み時期の活用を考案中

【第1学年】

- ・9月の文化祭を経てクラスがまとまった。
- ・1月の進路ガイダンスを通じて進路への意識付けを始めている。

【教務部】

- ・3月の入試に向けて繁忙時期にある。
- ・年間通じて数回時間割変更が生じた（教員の休職等による）

【生徒指導部】

- ・1月27日現在、遅刻数が579回。昨年よりもやや多い。
→遅刻が遠因となる事故が7件発生しており、保護者とも協力の上事故防止に取り組みたい。
- ・ベル着を引き続き徹底させると共に、服装指導を強化する方向。
- ・クラブ加入率が昨年度より上昇。アドミッション・ポリシーの浸透が原因であると考える。

【進路指導部】

- ・公募制推薦の結果状況が思わしくない。
- ・本年度は薬学系学部の全体志願者が多く、本校受験者も大変苦慮している。

【保健部】

- ・現在、インフルエンザが蔓延。第1学年を中心に20名前後の欠席者が発生。
- ・年度末に向けた大掃除を計画

【文化広報部】

- ・学校見学会が全て終了。参加者は前年度よりも微減。
- ・PTA役員の人選は比較的順調に決定

5 校長謝辞